

令和4年9月1日

伊勢市長 鈴木 健一 様

伊勢市まち・ひと・しごと創生会議
会長 齋藤 平

第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について（答申）

令和4年7月22日付04企第632号で諮問のありました伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理については、下記のとおり答申します。

記

- 1 「基本目標①安定した雇用を創出する」については、（1）人口減少対策として最も重要である雇用の場の創出の取組である「ウ 企業誘致の推進」のKPIが、令和6年度末の目標値に届く実績値になっている点は評価できます。一方で、市外からの企業誘致の面では、誘致できる場所の確保等課題も多いが、進出企業のニーズも分析しながら進めてください。（2）コロナ禍に対して、適切な支援対象の設定を図るとともに、補填的な持続化給付金だけでなく、事業者に対する経営コンサルティング等の長い目を見た支援について検討ください。（3）地産地消について、実態の把握に努め、消費者・農業生産者・飲食店の3者に実質的な効果が得られる取組としてください。（4）伊勢市の農業戦略において、どのような農業者を確保・育成したいのか整理が必要です。また、若者を対象として、農業体験に留まらない、職業としての就農を見据えた取組を検討してください。（5）就労支援及び就労環境の充実について、到達度の低い要因を分析してください。
- 2 「基本目標②伊勢への新しいひとの流れをつくる」については、（1）新型コロナウイルス感染症のある日常生活、また、ポストコロナにおいて多様な観光客を受け入れられるよう、「受け入れ基盤・環境の整備」を進めてください。（2）高校、大学においては、これまでも地域活性化等に焦点を当てた探究活動等に取り組んでいることも踏まえ、若者の定着促進に向け、更なる官学連携・取組の深化を図ってください。
- 3 「基本目標③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」については、（1）伊勢志摩圏域を見渡すと産科の病院・診療所は、伊勢市に集中してい

ます。引き続き、自分のまちで産み、育てられる環境が維持されるよう努めてください。(2) 確かな学力の育成について、達成目標に届くよう改善に取り組んでください。取組の中では、確かな学力の内容に留意し、教職員から必要な支援を聞き取るなど、実態の把握に努めてください。また、学校におけるICT活用において、教員間にばらつきがあるように見受けられることから、教員どうしの情報交換が進むよう努めてください。(3) 各方面で活躍する女性を発掘し、ロールモデルとするなど、引き続き、男女共同参画の啓発に取り組んでください。

4 「基本目標④暮らしやすい生活圏をつくる」については、(1) すでに新型コロナウイルス感染症のある日常生活という段階にあると考えられ、それに対応した「小さな催し」「オンラインイベント」等の取組を進めてください。(2) クリエイターズワーケーションの取組は、伊勢市が誇ることができる画期的な施策であり、今後も、新しいまちづくりを印象付けられるIT・デジタルを活用したシティープロモーションに取り組んでください。

5 基本目標の33の具体的施策の達成度は、「基本目標②伊勢への新しいひとの流れをつくる」についてはCが全体の80%となっており、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた結果となっています。全体では、A12、B10、C11となっており、概ね順調に取組が進められていると評価できます。引き続き、各種取組を着実に進めてください。